

## 映画『劔岳 点の記』こぼれ話

映画『劔岳 点の記』の上映を待望するわが業界では、すでにあちこちで活発な応援が繰り広げられています。

株式会社パスコさんでは、顧客・関連会社に配信する2万通ものメールで、本誌の「劔岳 点の記」に関する記事を紹介していただいています。

国際航業(株)さんでは、広報から「劔岳 点の記」のプロモーションDVDを社内に回覧していただいています。

機器メーカーのトプコンさんには、「劔岳点の記 応援隊」が結成され、隊員証まで作られています。その規約には○映画封切り時、速やかに見に行くこと○マンガを読むくらいなら新田次郎昨『劔岳 点の記』を読むこと○食べるなら富山の物産を食べること○飲むなら富山の地酒を飲むこと○できるだけ恋人・結婚相手は富山県人とする。などの極めて偏った規約(笑)にもかかわらず、すでに50人以上の隊員にふくれあがっているということです。

一番熱心なのが、本誌4月号で「この映画を測量技術者で応援しましょう」と投稿している(株)八州の計測技術部さんです。同社ホームページで、東映さんと当協会の「劔岳点の記コーナー」を紹介していただいています。また、仕事関係で出かける役場などの知り合いには映画チラシも忘

れずに持って行く人もいるほどの熱の入れようです。

このほか建設業界新聞のある記者さんは、国土交通省の局長さんや技術審議官に取材などの機会もあり、その折に山好きの相手とは必ずこの映画の話題で盛り上がっているそうです。

この映画は、ハリウッド映画のような派手なアクションシーンはないし、薄命に終わる恋人は登場しないし、CGで作り上げた超現実が出てこない。ただ男たちが、使命を遂行すべく山の中を歩き回っているというある意味で地味な映画です。「デート用ムービー」とはやや趣を異にしますので、最初から浮動票を期待はできないでしょう。この映画を目的に映画館に行く客をどれだけ掘り起こすかがヒットの分かれ目とされます。なにしろ原作は名作。映像は定評のある監督・カメラマン。俳優は、日本アカデミー賞ノミネートクラスの俳優さんが勢揃いときていますので、若い人にも積極的にお知らせしていけば、足を運んでくれるのではと思います。この映画が始まるまであと10カ月。測量・地図界は絶好のチャンスと捉えて〈感動〉のゴールへ向けてみんなで楽しみましょう。(浦郷武夫 記)